

群馬板金広場

(群馬県シートメタル工業会会報)

vol.19

2010年6月発行

GUNMA SHEET METAL PLAZA

G S M P

群馬県シートメタル工業会

<http://www.gsmp.gr.jp>

発行人

高木 賢治

発行

群馬県シートメタル工業会事務局

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町342

TEL 027-362-3500

FAX 027-361-3066

会全体で取り組む社員教育



群馬シートメタル工業会

会長 島田 利春

今3月の上場企業の決算は押しなべて利益回復基調にある様だが、中味は減収増益の企業が多く固定費の圧縮やコストダウンなど企業努力に拠るものであり、生産拠点の海外シフトは益々進んでいるのが現実である。更に電機や自動車の業界は環境対応の為、素材の軽量化や部品の合理化が検討され、従来の部品構造とは違うものとなってきており、生産台数が同じでも部品点数は大幅に削減される傾向となってきている。電機や自動車業界のみならずアパレル業界でも国内生産は減少しており、ユニクロの例で言えば、国内はデザインレビューのみで生産は海外の戦略をとっており、需要の旺盛な海外での出店は積極的である。又、食品全般についても中国を中心に生産拠点はドンドン海外にシフトしており生産のグローバル化はこれからも加速度的に進み日本での生産は全ての分野において減少していくであろう。

このような状況下で、シートメタル工業会の会員各位もどのような戦略で対応していくかが大きな経営課題となってくるが、日本でなければ出来ない技術の探求はどんな時代になろうが避けて通れない命題である。

後継者に胸を張って渡せる企業とする為 前進あるのみである！

そこで今年度の群馬シートメタル工業会では、社員教育に力を入れた政策に積極的に取り組んでいこうと考えている。図面の見方の実践から品質管理、そして中堅の社員研修まで階層別・基礎編・実務編など幅広く深く計画しており、多くのご参加を期待するところでもあります。又、このような時代だからこそ会員交流の場を多く設け、輪を広げて共同で受注できるような動きも考えて行きたい。会員各位の得意な巧の技術を組み合わせ、群馬のモノ作りの底力を内外に示して行きたい。その為には副会長と部会長を始めとする役員の方のご協力を仰ぎ、役員会の充実と多くの方に参加いただける親睦事業を企画し、会の活性化を図って行きたい。

平成22年1月～6月 活動の軌跡

- 1月27日 賀詞交歓会、第73回役員会（プラザアリア）
 2月 技能検定（㈱協和工業・㈱太田治工）
 3月10日 第74回役員会（伊勢崎市民プラザ）
 4月22～24日 簡単ムダ取り すぐできるコスト
 ダウンの実行（朝霧スクエア）
 5月14日 五県交流会（鳩山カントリー倶楽部）
 5月14日 北関東交流会（割烹旅館 佐久間）
 5月20～22日 Advanced Stage（中堅・リーダー候補）
 （朝霧スクエア）
 5月27日 第75回役員会（伊勢崎市民プラザ）
 6月3～5日 中堅リーダー

- （班長・主任・係長・各候補）（朝霧スクエア）
 6月10日 第11回総会、第76回役員会（プラザアリア）



五県交流会

平成22年6月～23年3月 活動予定

- 6月24～26日 新入／若手プロ意識強化
 （朝霧スクエア）
 6月26日 図面の見方（初級編）
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 7月10日 板金図面検定講習会 2級
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 7月17日 板金図面検定講習会 1級
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 8月 第77回役員会
 8月7日 板金図面検定講習会 2級
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 8月19～21日 部下を引っばる
 リーダーシップ強化ノウハウ（朝霧スクエア）
 8月21日 安全又は衛生のための特別教育
 （㈱協和工業）
 8月28日 板金図面検定講習会 1級
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 9月9～11日 営業力強化 自社アピール営業戦略作り
 （朝霧スクエア）
 9月 研修視察
 9月18日 検定前学科講習会
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 9月24～25日 利益を出すための品質管理
 9月30日～10月2日 企業成長は人で決まる
 多能工化のしくみ作り（朝霧スクエア）
 10月 第12回親睦ゴルフコンペ

- 10月9日 板金図面検定試験 1・2級
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 10月14～16日 戦略策定ノウハウ
 革新への実行プラン作り（朝霧スクエア）
 10月16日 検定前学科講習会
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 10月28～30日 ヒューマンエラー
 ポカ防止と安全管理（朝霧スクエア）
 10月28日～11月2日 第25回日本国際工作機械見本市
 『JIMTOF2010』（東京ビッグサイト）
 10月 第78回役員会
 11月18～20日 これを実行せよ！
 不良低減のキーポイント（朝霧スクエア）
 11月27日 検定前学科講習会
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 12月2～4日 コストダウンに直結
 5S実践と見える化（朝霧スクエア）
 12月17～18日 企業が生き抜くための管理職育成講座
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 12月18日 検定前実技講習会
 （伊勢崎市境総合文化センター）
 1月 工業会正副会長会（フォーラム246）
 1月 賀詞交歓会、第79回役員会（プラザアリア）
 2月 技能検定実技試験
 3月 第13回親睦ゴルフコンペ



技能検定合格者紹介

〈順不同〉

数値制御タレット パンチプレス板金作業1級



(株)三波メタルワークス
大川 洋和

(株)三波メタルワークスで工場長を務めている大川と申します。

技能検定は3度目の受検で機械板金作業、数値制御NCT板金作業のそれぞれ2級。そして今回NCTの1級を受検して合格することができました。

『継続は力なり』という言葉がありますが、毎回指導に来てくださるアマダスクールの講師、サポートして下さる工業会の方々のお力添えのおかげと感謝しております。

弊社は今後も若手社員を中心に技能検定を受検していく予定です。知識と技術向上に強い意欲のある弊社社長の下、一人でも多くの社員が合格できるよう微力ながら指導していく所存です。

機械板金作業2級



(株)三波メタルワークス
小暮 隆広

私は(株)三波メタルワークスでレーザー、NCTのプログラム、加工を担当しております。

今回技能検定を受けるにあたり学科、実技ともに当初は自信がありませんでした。しかし受けるからには精一杯やろうと思い何回も作業を繰り返しやりました。

実技の方では普段タレパンの金型交換はあまりやらないので、何回もコツ等を掴むために作業しました。その甲斐もあり金型交換もスムーズに出来る様になりました。展開から製作までの工程も自分が納得いくまで練習しました。

学科の方では出題範囲が広く分からない事も多かったのですが、貰った問題集、HP

の過去問題を繰り返し勉強いたしました。その結果、実際の学科試験では分かる問題が出題され実技、学科ともに合格することが出来ました。

最後にこの機会を与えてくれた社長と親切に指導してくれた上司の方々、群馬県シートメタル工業会に心より感謝致します。

ことがきたと共に、試験の自信へと繋げることが出来ました。

また、一緒に受検した仲間とも切磋琢磨し合いながら学科試験の勉強や、実技試験に向けての練習をすることができ良い経験になりました。

今後はさらに1級や数値制御タレットパンチプレス板金作業も取得できる様に、日々の業務に取り組んでいきたいです。

最後に今回受検機会を与えてくださいました会社の皆様、並びにご指導いただきましたシートメタル工業会に心より感謝いたします。

機械板金作業2級



武蔵工業(有)
高柳 陽介

私は、武蔵工業(有)で溶接を担当しています。

実技では、以前ベンダー作業を担当していたので落ち着いてミスのないようにやれば大丈夫だと思っていました。

学科の方は範囲が広くて苦労しました。でも、そのおかげで何気なく使っていた道具や図面などに記載されていた記号などの意味が良く分かりました。

今回、資格取得に協力して頂いた会社の皆様、シートメタル工業会のご支援に感謝いたします。どうもありがとうございました。

機械板金作業2級



武蔵工業(有)
小保方 義人

私は、武蔵工業(有)でベンダー作業を担当しています。今回、軽い気持ちで技能検

定に参加してみたところ、自分自身の知識の薄いことに気がつきました。

数回にわたる検定前講習の中で、今までの板金加工と違う奥の深い板金加工が見えてきました。

これからは、この資格を活かしさらに上のレベルを目指して自分自身、そして、今回このような試験を受けさせてくれた会社のためにも頑張っていきたいと思います。

機械板金作業2級



武蔵工業(有)
小林 良輔

私は、武蔵工業(有)で主にCAD及び、ベンダー作業を担当しております。

予ねてから技能検定という資格があるから受けてみてはと上司から勧められていて、弊社からは今まで受検したことはありませんでしたが、いい機会と思い受検させていただきました。

どの様な試験なのかほとんど分からない状態でしたので不安でした。

それでも、学科講習や実技講習では大変分かり易く、丁寧に教えていただき板金加工の知識や技術をさらに深める

数値制御タレット パンチプレス板金作業2級



イーケーエレベータ(株)
長岡 友和

私はイーケーエレベータで主にAP100を使いNCTのプログラムの作成を行っています。

現在は数名の作業員で板金作業を進めており、誰でもどんな機械でも操作し、昇降機の部品が作れるよう日々業務に取り組んでおります。社名の通りエレベーターの部品を製造していますので、大きな部品になると4m以上の材料を加工することもあり、大変やりがいのある仕事だと感じています。

今回、数値制御タレットパンチプレス板金作業2級を受検するにあたり、社内に受検経験者が居なかった為、未知の世界という感じでした。社内では全加工を担っているとはいえ、自分の知識と技能でどれだけ通用するのか不安であり自信もありませんでした。

た。

本番に向けてシートメタル工業会様に用意して頂いた学科と実技の講習に参加して、改めてその難しさを身感じました。学科は範囲が広い為、項目ごとに区切って集中して勉強しました。また、実技に関しては普段通りに出来れば良いと思っていましたが、実際は緊張との戦いでした。その緊張を克服する為に実技試験の数日前に、所属している

課の仲間に協力してもらい、公開試験という形でデモを行いました。普段何気なく行っている作業も改めて見られるという場の中ではやはり緊張してしまいますが、その成果もあり実技試験当日は落ち着いて臨むことが出来ました。

合格発表までは不安でしたが、合格通知が自宅に届き、合格の二文字が目の前に飛び込んだ時はうれしさと同時に安堵感もこみ上げてきまし

た。

これからは、この検定を受けて学んだ事や経験を活かし仕事に励み、後に続く後輩への手本となれるようにより一層努力して行きたいと思ひます。

最後になりますが、今回の受験に際し、協力して下さいました職場の上司、仲間全員と群馬県シートメタル工業会様に心より感謝致します。本当にありがとうございました。

機械板金作業 2 級



(株)コイズミ
柿崎 真悟

私は、株式会社コイズミでベンダー作業をしています。

今回自分自身のスキルアップの為受ける事になりました技能検定試験ですが、本格的に勉強を開始する以前より、その難しさはお話で聞いていましたので、正直勉強や試験が苦手な自分に合格なんて出来るのだろうかという不安がありました。

しかし、やる事になったからにはどんな結果が待っているかと頑張ってみようと思ひ、試験当日に向けて勉強を開始しました。

二度目の実技講習では具体的な試験の流れや、材料と機械の扱い方を学び、ベンダー加工の難しさを改めて知ると共に、普段あまり使用しないシャーリングやスポット溶接機に触れる事が出来たのは良い経験になりました。

三度の学科講習と通信教育では、主に出题される試験の内容と範囲の広さに愕然としながらも、一緒に座学を受けに来た周囲を見渡しながら「他の人達が頑張っているのに手を抜く事なんて出来ない。」と自分に言い聞かせながら、勉学に励みました。

ただ、それだけでは心許ない知識しか持ち合わせておりませんでしたので、家や会社の昼休みの合間に自習して、足りない部分を補っていきました。

このような経緯を経て合格できたのは非常に嬉しいと思ひますし、自信にも繋がりました。

また、試験を通して実務に生かせそうな予備知識を幅広く学習する事が出来ました。

最後にこのような機会を与えてくれた(株)コイズミの皆様と、一緒に試験を受ける事になり、励まし合い刺激にもなり、結果共に合格を果たした小林さん、群馬県シートメタル工業会様に、心より感謝致します。

機械板金作業 2 級



(株)コイズミ
小林 一之

私は、株式会社コイズミでベンダー作業をしております。今回、社長より技能検定の話頂き、受検することに決めました。普段、仕事では使用しない機械や内容等、戸惑いもありましたが、講習会で学んだ事を復習する等、勉強が苦手ながらも最後まできらめずに頑張りました。

実技試験は、機械の不慣れと、緊張のあまり練習と違い、

時間一杯に掛かってしまいましたが、無事合格できました。

このような機会を与えて頂き感謝するとともに、学んだ知識と技術を生かせるように努力して行きたいと思ひます。

機械板金作業 1 級



(株)太田治工
川口 悟

私は、社内ではベンダー作業をしています。今回板金1級の実技は、2回目の挑戦となります。

今回は、実技はいつも通りやれば大丈夫との慢心から合格出来ませんでした。今回は初心に帰り昼休みや時間外を使い、今までに無く数多くの課題品を作ることにより、無事合格することが出来ました。今回の経験を生かし今後多能工として数値制御タレットパンチプレスの取得、そして特級の取得へと、自身の技術力の向上を目指したいと思ひます。また板金1級の知識と技能を日々の品質、生産性の向上に生かして行きます。

結びに、この機会を与えてくれた、岩本社長、並びにご協力頂いた関係各所の皆様、群馬県シートメタル工業会の皆様のお陰と心より感謝し紙上をお借りし御礼申し上げます。

数値制御タレット パンチプレス板金作業 2 級



(株)太田治工
広瀬 哲也

私は(株)太田治工でNCT及びレーザー加工を担当しています。今回技能検定に挑戦しました。

実技はNCTを使っただけの加工は普段から行っているの、自信はありましたがAP100を使ったプログラムの作成は携わっていないので操作が解らず苦労しましたが、周りの人達の協力で操作もできるようになり、無事合格することが出来ました。学科は出題範囲が広く大変でしたが講習会で学んだことを何度も復習し合格することが出来ました。

今後は、技能検定を挑戦する中で体験し、学んだことを生かしながら自分自身のスキルアップを計り、そして自分で持っている技術や知識を職場の人達に教え、少しでも会社の技術力が向上するよう頑張りたいと思ひます。

また、今以上に色々な事にチャレンジし、チャンスがあれば1級に挑戦したいと思ひています。

結びに、今回技能検定受験の機会を与えて下さった岩本社長、並びにご協力頂いた関係各所の皆様にお礼申し上げます。有難うございました。

機械板金作業 1 級



(株)太田治工
岡田 裕裕

私は現在、主にNCT機械で部品加工を行っています。

最近では、ベンダーでの曲げ加工を行っていないため、今回初めて検定を受けるにあたり、多少の不安がありました。私自身の知識、技能が基本どおり身に付いているのかを、再確認するため受検しました。

知識についての勉強は、11月より検定前学科講習会で勉強を開始しましたが、分野が広範囲にわたっているため、初日から知らなかった事、間違っていて覚えていた事などが、数多くあり大変勉強になりました。

実技についての練習では、当初検定に使用する機械は、RGなどの一般的に使用される汎用機での、検定と違っていましたが、検定前実技講習会でHDSを使用して受けられることを知りました。当社では、2007年にHDS-2204NTを導入しており、形状入力も

使え慣れている機械で練習しました。

この学科、実技講習会の中で講師の方より、とにかく基本が大事と話がありました。基本を守ることで、機械を壊すことなく動かせること、基本を守ることで、労働災害が発生しないこと、基本を守ることで、良い製品が出来ること、私にとって忘れ掛けていた基本が何事にもとても大切だと技能検定を通じて痛感しました。

今後は基本の大切さを日常の職場の中で伝えて行き、これから技能検定を受ける人たちの手本となる様に日々頑張りたいと思います。

今回受験の機会を与えて頂いたこと、また講習会等でご指導を頂いたこと、関係各位の方々のご支援ありがとうございました。

このような機会を頂いた事に感謝し、今後に生かせる様に頑張りたいと思います。ありがとうございました。

数値制御タレット パンチプレス板金作業2級



(株)シンノエパック
山本 忠司

私は、(株)シンノエパックでNC加工を担当しております。

実技試験は、AP100の操作を全く知らなかったため、最初はとても不安でした。先輩や上司に教えてもらい、少しずつ覚えていき、一通り覚えてからはひたすら練習しました。時間制限もあるのでスピードも意識しました。その結果、自信を持って試験に臨むことが出来ました。

筆記試験は、シートメタル工業会の講習会がとても役立ちました。解説も分かり易く、質の高い講習でした。また、

出題頻度の高い分野、どの分野から何問位出題されているかという資料がとても参考になりました。

最後に資格取得の機会を与えて下さった新野社長、協力してくれた同僚、また指導して頂いた群馬県シートメタル工業会様に心から感謝致します。

数値制御タレット パンチプレス板金作業1級



(株)吉田鉄工所
須田 崇史

私は、(株)吉田鉄工所で主にタレパン作業をしたり、時々AP100を使用してプログラムの作成をしています。

そして去年、数値制御タレットパンチプレス板金作業の検定がある事を知り2級の検定を受ける事になり無事合格する事ができ、今年1級の検定を受ける事になりました。

実技検定は関係者の方々の配慮もあり使いなれた機械を使用して受検できる事になりました。検定前には検定前実技講習会に参加させていただき、検定のポイントなどを教わり、会社で空き時間を利用して十分に練習をしたので自信がりましたが、本番になると緊張してしまい追加穴加工で少しミスをしてしまいました。

学科検定は検定前学科講習会に参加させていただいたり、また検定前には、過去問題をやり間違えた問題は資料を理解するまで何度も読み返したりして勉強しました。

すべての検定が終わり、学科検定は自己採点をし合格点以上の点数が取れていたのが安心しましたが、実技検定はミスした事もあり合格発表までとても不安でしたが、なんとか合格する事ができまし

た。

今回の検定で得ることができた知識や経験を無駄にする事のない様に、普段の仕事に活かしていきたいと思えます。

最後になりますが、このような機会を与えて下さった会社の皆様、群馬県シートメタル工業会に心より感謝いたします。

機械板金作業2級



(株)アリギス
内山 俊幸

私は、(株)アリギスで主に切削の工程を担当しております。

入社して15年以上になりますが、その間にタレパン・ベンダー・切削と色々な工程、作業を経験させていただきました。技能検定を受検する事になり、その経験が実技的にも学制的にも大変、役に立ちました。

しかし、昨年は、実技試験は合格したのですが、学科試験は不合格となってしまいました。やはり普段、実務ではあまり使わない事の出題も多く、あらためて技能検定の難しさを痛感しました。

今回は、学科の事前講習もきちんと受講させていただきなんとか合格する事が出来ました。今後は、技能検定取得で得た知識・経験等を、実務で生かしてがんばりたいと思います。

最後に、この機会を与えて下さった弊社と共に受検した仲間、ご支援・ご指導いただいた群馬県シートメタル工業会の皆様に、心より感謝致します。

機械板金作業2級



(株)シンノエパック
鶴岡 弘三

私は、(株)シンノエパックでベンダー作業をしています。今回、板金技能検定を受検して板金加工に携わる者として、知識不足と経験不足を痛感しました。

学科では、講習会に参加させて頂き、広範囲の分野から出題されるという事で、過去問題を中心に勉強を進めていきました。その結果、板金に関わる基本的な知識を学ぶ事が出来ました。

実技では、日頃からの時間管理や緊張感を常に持ち取り組む事を忘れてはいけないと改めて感じさせられました。内容的には満足はしていませんが、合格する事が出来て、自分のスキル向上にむけ一歩踏み出した様に思います。

機械板金作業1級



(株)アリギス
吉澤 享

私は(株)アリギスでベンダーを担当しております。検定を受けるというのは前から聞いていたのですが、実際受けると聞いた時は重い気持ちになりました。実技は仕事が終わった後に練習したり、筆記では家に帰ってから勉強したりといつもとは少し違う生活をするのに苦労しました。努力の甲斐もあり、合格できたのは何よりも嬉しかったです。

今回の試験の内容は普段の仕事とは違う事をやったり、筆記でも全然わからない内容を勉強したり、少し戸惑いもあったのですが、新しい発見がありすごく良い勉強になったと思います。今回取得した資格を活かし、普段の仕事をがんばっていくとともに、次の資格取得へのチャレンジもしていきたいと思っています。

今回、資格取得に協力してくれた会社の皆様、指導をしてくれたシートメタル工業会に感謝します。ありがとうございました。

機械板金作業1級



(株)アリギス
中西 利幸

私は、(株)アリギスで、ベンダー作業をしています。技能検定を受けさせて頂くにあたり、まず学科試験の資料が配られました。私は、それを見つけて範囲の広さに驚きました。板金機械や作業方法、それらの仕組みなど細かい事

まで記述してありました。しかし、検定試験まで日数があるので資料を配られた時点での私は少し楽観視していました。

会社から学科試験や実技試験の為の講習を受けさせて頂きました。講習内容は、過去問などを使い要点だけをわかりやすく説明して頂けたのでとても有意義な時間でした。その講習内容を軸にして、試験勉強を始めましたが、勉強すればするほど、出題範囲の広さを改めて痛感しました。

終業帰宅後の空き時間は、ほとんど勉強時間に当てました。仕事でも少し時間を頂いて実技試験の練習を何回もさせて頂きました。今現在は、技能検定に合格した事が自信につながり、勉強した内容は、知識や経験となり、日常の仕事にとってもプラスになっています。

数値制御タレット
パンチプレス板金作業2級



(株)アリギス
高野 祐治

私は、(株)アリギスでNCTの担当をしています。私にとって板金検定は、二度目の挑戦です。前回は、仕事が忙しいなどにかこつけて、講習や実技試験の練習も中途半端なまま試験を迎えて不合格になってしまいました。

しかし、二度目の受検の機会を会社に与えて頂き、頑張らなければという思いで臨みました。パソコンが苦手で、AP100の操作が未経験な私は、同僚に助けられながら必死になって練習しました。そのおかげで、今まで携わった事のないAP100の知識を身に付ける事が出来ました。学科、実技試験を終えて、合格発表までは不安な毎日でしたが、苦労した分、合格の知らせを聞いた時は、大変嬉しい思い

でした。今後は、この検定で取得した知識と技術をさらに伸ばせるようにしたいと思います。

最後になりますが、資格取得するにあたり協力して頂いた会社の皆様、群馬県シートメタル工業会関係各位には、心より感謝致します。

数値制御タレット
パンチプレス板金作業2級



(株)アリギス
竹内 要

私は、ブランク工程でレーザー加工を担当しています。

今回、検定を受ける事になり、検定内容がAP100でのプ

ログラム、タレパンでの実加工と今まで殆ど経験したことがない内容だったので、かなりの不安がありました。事前の講習でも、学科の試験範囲の広さやAP100の操作に戸惑いましたが、講師の説明がわかりやすく興味も持て、やってやろうという気持ちになりました。結果、合格することができましたが、これに満足せず検定の内容を実作業に生かし、NC1級、板金作業と次の検定も取得できるように努力して行きたいと思っています。

最後に、今回、検定を受けるチャンスを与えてくれた社長、サポートしてくれた会社の仲間、ご支援くださった群馬県シートメタル工業会、並びに関係各位の皆様へ感謝致します。

機械板金作業1級



岡部工業(株)
石川 陽一

私は岡部工業(株)でベンダーの作業を担当している石川と申します。

技能検定を挑戦するにあたり、普段慣れているベンダー作業は自信がありました。しかし、普段やりなれていない展開計算は、自信が無かったので、展開計算に重点を置き何度も練習しました。

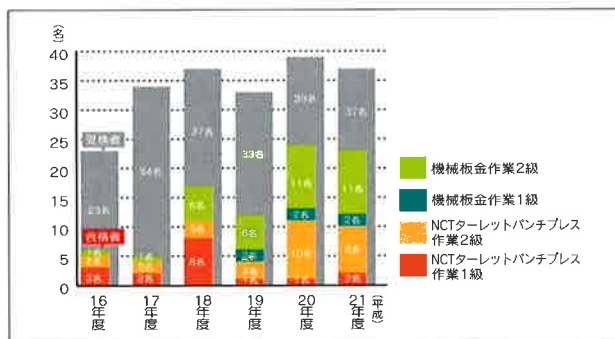
練習で自分が良く失敗して

いた事は、展開間違いで失敗する事が多くあったので、自分が計算した結果が合っているのか、確かめ算をして確認する事が重要だと思いました。他の工程に自信があっても最初でつまづいてしまっただけは、意味が無いので、まずは計算に自信をつけて今回、本番に臨みました。

学科の試験は講習会に参加し、勉強した事を何度も見直し、何とか今回合格する事が出来ました。

最後になりますが、今回の受検の機会を与えていただき、また合格へ向けての支援を頂き、ありがとうございました。今後も弊社の技術向上のために努力して行きたいと思っています。

■技能検定合格者



機械板金作業2級



岡部工業(株)
大家 康利

私は、岡部工業(株)でベンダー作業を担当しております。

す。技能検定を受ける事になり、実技においては、各工程で落ち着いて正確な作業が出来る練習を行う事により、試験当日も納得のいく製品が出来ました。

学科は、会社からシートメタル工業会の講習会を受講させていただき、板金加工全般にわたる広範囲の内容でしたが、分かりやすく説明していただきました。

学科試験日までに、過去問題やテキストを何度も繰り返し、覚えるまで勉強しました。その結果、試験当日もスムーズに回答する事ができました。実技・学科試験を終えて合格発表まで結果が楽しみでした。そして合格通知が届いたときに、何とも言えない充実感でした。

今回の検定試験において勉強になった事は、何事も、や

る気と過程によって結果が決まるという事を実感致しました。今回得た知識や経験を仕事に活かし、より効率の良い作業を日々追求していきたいと思えます。

最後になりますが、今回の受検の機会を与えていただいた岡部社長、並びに関係各位と群馬県シートメタル工業会のご支援に感謝いたします。どうもありがとうございました。

5 県 交 流 会 開 催

in 埼玉県

平成22年5月14日(金)・15日(土)

『鳩山カントリークラブ』にてゴルフプレー川越市『割烹旅館 佐久間』にて情報交換会および懇親会
島田会長・臂経営部会長・高木総務部会長・茂原生産副部会長・荒木生産副部会長の5名が参加。

グリーンで交流を深める

(株)三波メタルワークス 荒木 義人

5月14日に埼玉県シートメタル工業会様主催の五県交流会が開催され、鳩山カントリークラブにて親睦ゴルフコンペが行われました。当工業会からは島田会長、高木総務部会長、茂原生産副部会長と私の4名が参加しました。

当日、多少風が強かったものの朝から晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和でした。(有)ホワイトヒル平野様、(株)第一金属製作所福田様、埼玉県シートメタル工業会事務局北川様の3名とご一緒させていただきましたが、とにかく足を引っ張ることなく迷惑をかけないようにと思いました。

いよいよティーオフ。幸か不幸かオナーを引いてしまった私は『ミスしちゃったらどうしよう…』なんて自分らしくないことを考えてしまい緊張のピーク。でも諸先輩方は流石です。アウエーの私の緊張を察してくれたのか『気楽に』と声をかけてくれました。この一言でなんとか迷惑をかけないショットが打てたのは過言ではありません。2、3ホール消化していくうちに皆さんに打解けることが出来て、なんとか自分のペースでプレーすることが出来ました。

ハーフ [43] を目標にプレーしている私は、前半8ホ

ール終了時点で7オーバー。最終ロングホールをパー縛りで迎えてしまいました。毎度のことですが最終ホールのこの状況は非常に多いパターン。スタート時とは違う緊張感の中、ミス連発。なんとか4オンしたものの残り約8メートルのパーパット。気持ちでねじ込んでどうにかパーでおさまり目標達成で折り返し。

前半を良い形で終えて調子が上がったのか、後半は1バーディ、3ボギーの [38] で回り、トータル [81] 結果、順位は4位でしたが一番欲しかったベスグロが取れて非常に満足 of いくプレーが出来ました。ありきたりな表現ですが、サム of 皆さまと天候に恵まれての結果でした。

今回、島田会長に声をかけていただき五県交流会に参加させていただき、他県の工業会の主旨、活動状況を知り、大変勉強になりました。

私も今回の経験を活かし、役員として微力ながら当会の運営、発展に協力できればと思います。

会運営のヒントを学ぶ

(株)アッセンブリー・プラント・グローリー 臂 友幸

5月14日の春うららかな1日、埼玉県川越市、皆様にもよく知られている蔵の町の割烹「佐久間」にて五県交流会が開かれました。五県とは、群馬、茨城、栃木、新潟、埼玉の五県です。各々の工業会が今、どの様な活動をし、また、どの様な問題を抱えているか、情報を交換し、今後の会運営のヒントが与えられました。

特に、各工業会で組織されております青年部会(青年会)が活発に活動されている由。

最後に、懇親ゴルフコンペの表彰式が行われ、その後、当日交流会に参加した人にしか判らない宴(うたげ)が延々と続きました。

来年度は栃木県が主催で開催されます。多くの方の参加を希望します。

What are you interested in?



中年水上ライダー見参!

(株)モハラテクニカ

代表取締役 茂原 純一

私がジェットに出会ったのは、7年前の夏でした。高崎プレス組合の親睦部会の家族旅行で、新潟県の野積に行った時に、後輩がジェットを引っ張ってきたのです。そのジェットはカナダのボンバルディア社製の“シードゥ”でした。黄色で1500ccスーパーチャージャー付で185馬力! 時速104kmでリミッターが効く。今の新艇はさらにインタークーラー付で260馬力、同じ排気量なの



に驚きの数字です。以前から興味が有り、チャンスがあれば乗りたいと思っていたので絶好の機会でした。

最初は後ろに乗っていたのですが、どうしても運転をしたくなり交代してもらったのです。昔若かりし頃バイクに乗っていた経験があったので、大した事はないだろうとなめてかかったのが大間違い。後ろに2人を乗せていきなりアクセル全開、両腕に大人3人分のGがかかり、腕が伸びきって制御不能。アクセルを離したいけど、離したら3人共海に落ちる。辛抱して力が戻ってきたところでアクセルをバツと離したら急ブレーキがかかり、後ろの2人が突っ込んできて耐え切れずハンドルに胸を強打し、なんて恐ろしい品物だと思いました。

後輩に「初めてジェットに乗って、しかも2人乗せていきなり全開は茂原さんだけだ」と怒られました。その後、母親と女房に「いい年こいて」と、反対されつつも、ジェットの魅力に引かれ11月に免許を取り、翌年の2月にはジェットを注文し4月には手に入れてしまったのです。

海や川に行きますが、怖いのは浅い所で石や藻やゴミなどを吸い込むと動かなくなってしまう、車と違い船は流されてしまうので、素人は一人では行動出来ません。

ここ4年くらいは、仲間と東京湾のクルージングに行きます。中川のマリーナでジェットを降ろし、荒川から隅田川そして神田川に入り日本橋をくぐって、東京湾に出ると目の前にレインボーブリッジ、お台場で休憩し一気に横浜の中華街。そうです、昼飯を食べに行っただけです。

あるときは、羽田からアクアライン沿いに東京湾を横断し木更津のマリーナに豚汁を食べに行きました。今年は平塚で降ろし、烏帽子岩で写真を撮り、三浦は三崎のマグロを食べに行ってきました。「美味しかったー」。天気が悪いと大変ですが、大勢の仲間と楽しくやれるとストレスが発散でき最高です。

最近年を感じ行く回数も減ってますし、あと何年乗れるかも分かりませんが、今後もマナーとルールを守り、怪我や事故に遭わないよう安全運転で楽しみたいと思います。

編集後記

六本木先輩

ありがとうございました

はやいもんですね! 島田丸が航海をはじめて一年が過ぎました。

4月からの今年度、業種によって温度差はある様ですが、私達の製造業の場合若干製品は動いている様ですが、価格破壊により、まだまだ厳しさのど真

ん中と感ずるのは、私だけでしょうか?? そんな、日々経営を考える毎日を過ごす中で長年にわたりシートメタル工業会に対し、ご尽力いただきました。六本木先輩が退会するとの話を聞きました。寂しさはありますが、経営者としての先輩の生き方だと感じております。

工業会において、色々のご指導いただきました後輩達を代表して『六本木先輩、有り難うございました。』とお礼を言わせて下さい。

今日もまた一歩、昨日より前に進みましょう。

(飯山 靖)